

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	41	学 校 名	静岡県立静岡商業高等学校	校 長 名	中村 正義
------	----	-------	--------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

校訓「剛健進取」のもと、120年を超える歴史と伝統を誇る静岡県を代表とする商業高校として、産・学・官との連携による「課題研究」等の実学教育と課題解決型学習等の活動を通じて、地域を担うビジネスリーダーや知徳体のバランスのとれた社会性に優れた有為な人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

- I ビジネスに関するマナーや技能・実践力を身に付け、社会人基礎力を育成する学校。
- II 学ぶこと働くことを尊び、高い志を持って生涯学び続ける姿勢を育成する自主性に満ちた学校。
- III キャリア教育を通して進路目標に向けて個々の実力を高め、多様な進路希望を実現する学校。
- IV 行事や部活動等を通して、豊かな人間性や健やかな心身を育成し、活力にあふれる学校。
- V 地域社会との連携を深め、地域に学び、地域貢献に寄与して地域社会から信頼される学校。

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>何が身に付き、どのような力を育成するか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域を担うビジネスリーダーとしての技能や実践力 ○優れた経営感覚を持った豊かな人間性と健やかな心身 ○学びや働くことを尊び、高い志を持った生涯学び続ける強い意志や姿勢 	<p>何を学びどのように育成するか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時代や環境の変化に対応した商業の高い専門的な知識技能 ○地域人財や他機関との連携を活用した実学教育を中心とした主体的な能力 ○課題を発見し、その解決に自ら取り組む主体的・対話的で創造的な人間性 	<p>どのような生徒を受け入れるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力を有し、高い志及び目的意識をもって教育活動に取り組む意欲のある生徒 ○健康で逞しく、自ら進んで取り入れるチャレンジ精神にあふれる生徒 ○地域を愛し、地域に貢献しようという強い意志を持つ生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 社会人基礎力育成のため、ビジネスマナー、倫理観、規範意識、情報モラル等、社会性に優れた生徒の育成
- イ 生徒の基礎学力の定着とICTを活用した主体的な学習活動推進、探究的な学びの教育の充実
- ウ 個に応じたきめ細かな進路指導と適切な進路の実現
- エ 生徒が充実した学校生活を送るため、行事や部活動、生徒会等の教育活動の充実
- オ 外部（企業、自治体、学校、地域）との連携を深め、開かれた学校づくりの推進、広報活動の充実
- カ 生徒の心身の健康、教育相談、交通安全、防災、人権教育の充実
- キ 教育環境の整備、業務の精選と効率化、教職員の心理的安全性の確保

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	社会人基礎力育成のため、 ビジネスマナー、倫理観、規範意識、情報モラル等、社会性に優れた生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教員、生徒共に挨拶の習慣化 ・校内美化意識の醸成 ・基本的生活習慣の指導徹底 ・授業や集会において情報モラル教育を重視 ・読書習慣の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に挨拶が習慣化されると感じる生徒90%以上 ・清掃活動にしっかり取り組んでいる生徒90%以上 ・健康面で自己管理し、欠席・遅刻・早退をしないよう意識して学校生活を送れている生徒90%以上 	全教職員 総務課 生徒課 保健課 情報管理課 各教科 各学年

様式第1号

			<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルを理解して、スマートフォン等の情報機器を使用している生徒 90%以上 ・今年度（4月～）、本を自ら読んで読んだ経験がある生徒 70%以上 	
イ	<p>生徒の基礎学力の定着とICTを活用した主体的な学習活動推進、探究的な学びの教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習等、授業以外での学習習慣の確立 ・授業改善やICT活用研修、授業見学週間の実施 ・主体的、対話的で深い学びを実現する探究型授業実践の推進 ・観点別学習評価の授業改善への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や家庭学習等、授業以外の学習時間を集中して取り組むことができた生徒 80%以上 ・先生はICT機器を効果的に活用して授業を行っていると感じる生徒 90%以上 ・授業を通して、学力が伸びたと感じる生徒 90%以上 ・授業において、ICT機器を効果的に使うことを意識している教員 90%以上 ・生徒の基礎学力定着のため、様々な工夫をし、指導している教員 90%以上 ・生徒が主体的に取り組み、学びが深まる授業を実践している教員 90%以上 	<p>全教員 教務課 情報管理課 各教科 各学年</p>
ウ	<p>個に応じたきめ細かな進路指導と適切な進路の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次からの系統的なキャリア教育の推進 ・生徒の進路希望に応じた個別指導の充実 ・生徒自ら進路情報を収集し、進路選択できる指導の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は生徒の進路実現に向けて、きめ細かな進路指導を行っていると感じる生徒、保護者 80%以上 ・進路指導において、生徒の主体性が育つよう工夫して指導をしている教員 90%以上 ・キャリア教育において、効果的に外部との連携が図れたと感じる教員 80%以上 	<p>全教員 進路課 各学年</p>
エ	<p>生徒が充実した学校生活を送るため、行事や部活動、生徒会等の教育活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事毎にPDCAの手順に則った業務推進 ・部活動毎に目標の設定、外部指導者と連携した運営 ・生徒主体による生徒会、各委員会活動の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事が充実していたと感じる生徒 90%以上 ・部活動が充実し、前向きに活動出来ている生徒 90%以上 ・生徒会、各委員会活動が、生徒主体で行われていると感じる生徒 90%以上 ・静商は雰囲気が良く、学校生活は楽しいと感じる生徒 90%以上 	<p>生徒課 部活動 全教員</p>
オ	<p>外部（企業、自治体、学校、地域）との連携を深め、開かれた学校づくりの推進、広報活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、行事、部活動等において、外部と連携した教育活動の推進 ・学校運営協議会制度を活用した開かれた学校運営 ・PTA活動の工夫改善 ・中学生向けの広報を工夫改善し、学校の魅力を発信する ・学校HPやSNSを活用した情報発信の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、自治体、大学、専門学校、地域との連携活動を通して学びが深まったと感じる生徒 80%以上 ・授業や行事、部活動等において、外部と連携した教育活動を実践できた教員 80%以上 ・PTA活動が、今の時代に合った内容だと感じる保護者 80%以上 ・各種広報イベントにおいて、事前広報を強化し、前年度以上の参加者数にする。 	<p>全教職員 総務課 教務課 進路課 情報管理課 各教科 各学年</p>

様式第1号

カ	<p>生徒の心身の健康、教育相談、交通安全、防災、人権教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医やスクールカウンセラー等の外部支援員と連携した指導、支援の充実 ・交通安全講話や生徒の委員会活動を通じた啓発活動の実施 ・実態に合った緊急時マニュアルの作成と効果的な防災訓練の実施 ・生活アンケートの実施 ・人権意識や思いやりの心を育む教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は生徒が安心して学校生活を送るため、様々な支援をしていると感じる生徒 90%以上 ・登下校時に交通ルールを守っている生徒 90%以上 ・学校は防災訓練等を効果的に実施していると感じる生徒 80%以上 ・人権を意識し、思いやりの心を持って他者と接するようにしている生徒 90%以上 	<p>全教職員 生徒課 保健課 総務課 情報管理課</p>
キ	<p>教育環境の整備、業務の精選と効率化、教職員の心理的安全性の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全を踏まえた学校施設、設備の点検、修繕、保全 ・各分掌、学年、教科等の年間を見通した業務の精選と効率化を図る ・教職員間の風通しを良くするため、挨拶の励行とコミュニケーションの活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の不備による事故発生0件 ・自分が関わる業務において、精選と効率化が図れたと感じる教職員 80%以上 ・生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員 80%以上 ・職場の風通しが良く、心理的安全性が確保されていると感じる教職員 80%以上 	<p>事務 全教職員</p>